※令和４年度以降入学生用

学校番号	107

令和８年度　芸術科

教科	美術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「美術１」　（光村図書）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な「絵画・彫刻」「デザイン」「映像メディア表現」など、多種多様な作品を知り、自身の表現を深めていきます。
・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に広がったり深まったりします。

2　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
１）対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
２）造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
３）主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	よく「みる」	・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ。 ・「手」の写生	a:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化ついての理解を深めている。 b:対象を凝視し、形だけではなく、質感・存在感もつかんでいる。 c:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。	作品	アイディアスケッチ・プリント	制作の様子・振り返りプリント・
	モダンテクニック	基本技法 「デカルコマニー」 「ドリッピング」 「マーブリング」 「スパッタリング」 「スクラッチ」 「バチック」	a:配色、水加減等、水彩の表現を工夫している。 b:白い画面にどんな色を、どのように配置するかを構想している。 c:思いもよらない画面の変化を楽しんでいる。	作品	作品	制作の様子・振り返りプリント
	アクリルガッシュを用いた色彩学習	・アクリルガッシュ絵の具を用いて、混色方法や配色関係についてのプリントを仕上げる。 ・平筆、面相筆を用いて「平塗り」という塗り方を覚える。	a:世の中に存在するロゴや看板、マンセル表色系を参考に、色彩について学んでいる。 b:アクリルガッシュ絵の具の特徴を掴みながら、丁寧に着彩する技法を身につけている。 c:より完成度を高めるために混色や筆遣いを工夫している。	作品	作品	制作の様子・振り返りプリント
	ネームプレート	デザイン 短冊形の画用紙に、自分の氏名をデザインし、アクリル絵の具にて彩色する。	a:漢字・ひらがな・カタカナ・英字、また、デフォルメしたり省略したりして、よい形を探している。 b:アクリル絵の具での平塗り。水加減に留意している。 c: デザインの力で他人に伝えたいことが表現できている。	作品	アイディアスケッチ・作品コンセプトシート	振り返りプリント・鑑賞シート・制作の様子

※令和４年度以降入学生用

	コラージュ	デザイン 雑誌、新聞等の切り抜き、マスキングテープ、布、等様々な素材にてコラージュ作品を創る。	a:コラージュという手法を知り、「描く」のとはまた違う面白さを体験している b:非日常的な、不思議な画面を創造している。 c:切るだけではなく、ちぎる・しわをつくる等、素材の特性も利用しながら様々な素材を試している。	作品	作品コンセプトシート	振り返りプリント・制作の様子
	ドライポイント版画	版画 先のコラージュ作品からトリミングした画面を原画にして、原版を作る。	a:ドライポイント版画では、ニードルの線の強弱や粗密などに留意している。 b:どこをトリミングするか、何を狙った画面をつくるのか、しっかり考察している。 c:前に自分が創った作品から、また違う作品が生まれる面白さを感じている。	作品	作品コンセプトシート	振り返りプリント・制作の様子
後期	木彫	彫刻 生き物をテーマとし、浮彫りを用いて立体感のある木彫レリーフを完成させる。	a: 五種類の彫刻刀を使い分け、自分の作品の表現を深めている。 b: 平面の中に空間を感じさせる演出や工夫をしている。 c: 平面の板から立体感を感じるものを生み出そうと取り組んでいる。	作品	アイディアスケッチ	振り返りプリント・制作の様子

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度